

亀井勇 (日大生産工)

(29) 鹿島建設技術研究所の風洞について

本郷剛 (鹿島建設技研)

16:30~17:10 特別講演

(30) 環境風洞について

坂上治郎 (お茶の水女子大理)

佐藤浩 (東大宇宙航空研)

(* 印は講演予定者)

一般講演時間: 13分 (質問時間含)

懇親会: 時間, 17:15~19:00. 会場, 農技研地下食堂. 会費, 1,500円. 申込方法, 〒114 東京都北区西ヶ原 2-1 農技研気象科 真木太一宛お申込み下さい (11月10日).

海外だより

外国の気象観測所めぐり (3)

Service national de la météorologie du Laos

—102°40'E, 18°N, Vientiane—

1972年12月10日, バンコックを飛びたった40人乗りのプロペラ機はタイの平原を北北東へ1時間あまりでメコン川を越えてラオスの首都ビエンチャンへふわりと着陸した。両替所もない飛行場にとまどいながらタクシーでホテルへ行き大型できたない紙幣をドルと交換に受けとる。この国にはコインはない。翌日気象台を探したら飛行場の向いにメコン川を背にして近代的な美しいビルが見つかった。手前の美しい露場のまわりの草原には鹿と羊のあいのこのような可愛い動物が放たれている。この国の家はタイとちがって古めかしく、いかにも古都という感じがする。気象台の幹部は、フランス・オーストラリア・ソ連などの大学を出ており、気象業務のほか、国家の重要な指導階級として、また国軍の幹部として、毎土曜日には軍事教練にもはげんでいる。気象器械は各国から提供されたものがコンクールのように並んでいる。中でもヘルシンキ製というラジオゾンデ追跡装置は、メコン川の岸に60m四方に数十のアンテナがごばん目に並んでいて珍しかった。

次の日、気象台のジープで北方70kmのメコン川の支

流の Nam Ngum 川にある日本工営のつくったダムを見学に行った。ラオスは日本の倍の面積にたった200万人で、全消費電力は当時でたった9,000kWということ。このダムはすでにその3倍の発電をタイへ電気を輸出しているのだそうだ。メコン川に沿っていくつかの水位雨量観測所がおかれており、そのデータはバンコックのIBMセンターで解析され、洪水予報がラオスの住民に放送される。洪水が来ると住民は一階が柱だけの2階建の家にもって水がひくのを待つ。ジープはこのような竹馬に乗ったような家が点在する中を真赤な土煙をあげてはしる。いたるところに検問所があり、聞けば、このあたりでも毎日数人の戦死者があるという。途中で農業気象観測所があり、風、雨、気温、地温、湿度などが測られていた。このあたりは両方の勢力のいりまじっているところで、のんびりした風景の中に緊迫感がある。ラオスの人たちは酒が強く、話に熱中する人が多いが、政治の話になると口が重い。ここに来て、日本は平和でありがたいとつくづく感じた。

(京大防災研 中島暢太郎)